

科目名	心理 コミュニケーション	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			法学部	□必修 ■選択	
			学部	□必修 □選択	
英文表記	Communication Psychology	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	せと ひろし	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	瀬戸 泰	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	人は一人では生きていくことはできず、他者との意思疎通、すなわちコミュニケーションを図りながら生活を送っています。つまり社会生活を送る以上、他者とコミュニケーションを行う必要があります、それが社会の発展や喜びといった人間らしさを支えてきたとも考えられます。一方、「あらゆる悩みは人間関係にある」ともいわれるように、私たちは対人関係やコミュニケーションについて悩むことも少なくありません。本授業では、このように私たちにとって恩恵をもたらすと同時に、苦悩の原因にもなり得るコミュニケーションについて、心理学的な観点から学び、理解を深めていくことをテーマとします。				
到達目標	1. コミュニケーションに関する心理学的な理論や考え方を理解し、説明することができる。 2. 学習した内容を、自らのコミュニケーションや日常生活に当てはめて確認・考察できる。				
授業概要	座学を中心に、コミュニケーションに関する心理学的な内容を取り扱います。具体的な事例等を織り交ぜ、理論をいかに日常生活に活かしていくかという視点を意識して授業を進めたいと思います。				
授業計画					
第1回	イントロダクション	(授業の概要、コミュニケーションとは、3つのノイズ)			
第2回	コミュニケーション能力	(コミュカってなんだ?、コミュニケーション能力の複合性と階層性)			
第3回	対人不安	(ヤマアラシのジレンマ、対人不安の3要素、親和欲求、スキーマ)			
第4回	非言語コミュニケーション	(メラビアンの法則、ヘソは雄弁に物語る、パーソナルスペース)			
第5回	言語コミュニケーション	(言葉による意思疎通、言外の意味、評価言葉の注意点)			
第6回	交流分析①	(心には5人の自分がいる、エゴグラム、交流パターン分析)			
第7回	交流分析②	(心の栄養としてのストローク、心理ゲーム)			
第8回	交流分析③	(脚本分析：私たちは人生の筋書をもっている、ドライバーと禁止令)			
第9回	フレンドシップ	(強い紐帯と弱い紐帯)			
第10回	ユーモアと笑い	(笑いの2段階モデル、笑い与健康、なぜ人は笑うのか)			
第11回	悪意の心理学	(対人関係における苦悩、嘘、攻撃行動、シャーデンフロイデ)			
第12回	傾聴と雑談スキル	(傾聴とは、聴き方のポイント、ペアワーク、雑談のヒント)			
第13回	オンラインコミュニケーション	(増加するSNS、フィルターバブルとエコチェンバー、匿名性と誹謗中傷)			
第14回	コミュニケーションの障害	(発達障害とは、発達障害と脳、カサンドラ症候群、支援のポイント)			
第15回	アドラーの心理学	(原因論と目的論、課題の分離、ライフタスク、共同体感覚)			
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	学習内容の定着を図るため、毎回、復習を行うようにしてください。 授業で学んだことを、日々の経験や日常生活で意識的に当てはめ、考察・活用できるよう努めて下さい。				
履修条件 受講のルール	履修のための条件はありません。				
テキスト	毎回、講義用レジュメを配布します。				
参考文献・資料	藤田依久子 『新版 対人コミュニケーション入門』 (ナカニシヤ出版、2022)				

成績評価の方法	毎回のコメントシート 40%、試験 60% ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	月曜日もしくは火曜日の 10 : 30 ～ 12 : 00 ※上記以外の時間帯でも、研究室に在室中であればお声がけください。 E-mail : seto@nau.ac.jp
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び 実務を活かした 授業内容	—
学生への メッセージ	近年、就職活動や実際の仕事、その他様々な場面において、「コミュニケーション能力」が求められる傾向があります。その点からも、一度コミュニケーションに関する学問的な考え方の全体像を理解し、それを自分自身の日常生活に活かしていくことは有意義なことと思います。理論と実践を往復しつつ、学びを深めていただけたらと思います。